



「伝統の重み」



PTA 会長 兼 久 詠 次

今年度 P T A 会長を務めさせていただいております。兼久詠次と申します。日頃より皆様には、P T A 活動に御理解・御協力を賜り誠にありがとうございます。

二〇二三年五月八日に新型コロナウイルスが感染症分類の二類から五類へ移行されたことにより、自粛・縮小・変更を求められた学校行事や、P T A 活動につきましてもようやく本格的に動き出すことができるようになりました。私自身 P T A 活動に携わったことのない中、監査・副会長と務めさせていただきました。ただ、コロナ禍における活動が制限されていたため経験のない行事もあり、大変不安の中での会長一年目をスタートしました。

学校行事及び P T A 活動も少しずつですが、アフターコロナの中今までの活動にもどれるよう、友澤校長を中心として教職員の方々には、生徒第一に人生で大切な高校生活を安心、安全に過ごせるように日々御尽力いただきまして深く感謝申し上げます。

「自ら考える力」



校 長 友 澤 義 弘

P T A 会員の皆様には、日頃から本校の教育活動に格別の御理解・御協力を賜り、心から感謝申し上げます。新型コロナウイルス感染症も五類となり、本校生徒の様々な活動の中に多くの笑顔が見える喜びを保護者の皆様方とともに喜び合いたいと思っております。

皆様もご承知のとおり、今夏の甲子園で百七年ぶりの優勝を成し遂げた慶応義塾高等学校野球部。「髪型自由」「長時間練習なし」など、これまで高校野球の常識を覆す指導方針を掲げて最高の結果を導いたのが同校の森林貞彦監督です。

現在の生徒たちには「考える力」「主体的・対話的で深い学び」が求められています。今回、森林監督が雑誌の取材を受けて語った内容が、生徒の可能性について私たちが自身の学びの参考になると思い、一部をご紹介します。

慶応義塾野球部には「エンジョイ・ベースボール」という方針があります。楽しい野球、「勝つても負けても楽しくやれ誇りに思います。最後に、P T A は今後も先生方と連携し生徒達の成長に向けて活動してまいりますので、保護者の皆様の御理解・御協力のほどよろしくお願いたします。

「より高いレベルで野球を楽しむ」ということです。また、「笑え」とも言っています。一人ひとりチームも強くならないといかないという意識を持つて「いい顔をしてやろう」を実践することが本質であり、苦しい練習とエンジョイは対立軸ではないのです。

また、同校野球部は、「部員それぞれが考えて行動する。」つまり部員一人ひとりがチームのために考えて動くことが特色です。部員は、みんな野球が好きで、野球がやりたくて野球部に入っています。それなのに監督に言われたことだけやって、それ以外は余計なことだからやらないとか、監督の顔をうかがいながら練習する環境から成長はありません。

好きなことなら、言われなくても練習するし、上手くなりたから追求したいというのがベースにあるはず。私はそこにアプローチしたい。「野球好きでしょ?」「チームも強くなりたいでしょ?」「だったらどうする?」という問いに対し、部員それぞれが考える。速い球を投げられるようにするなら、どういうフォームがいいのかを自分で追求することです。

「高校生に任せて心配じゃないですか?」と聞かれることがありますが、一年生で入ってきた時は基礎の基礎は教え込みます。しかし「叩き込むのがすべて」という今の高校野球に對抗する新しい方法として、「部員たちに任せる」「任せたからには信じる」「信じて待つ」。この姿勢をセットで実践しています。実際には、「任せた、信じた」と言っておきながら結果が出るのを待てない。挑戦して失敗したら結果論で責めたり問い詰めたりする指導では、結局、選手がやる気をなくし、言われたことだけをやる、横並びで隣と同じことをやる、となってしまう。指導者として、結果を焦るし、待てなくなりませんが、「子どもを信じて成長を待つ」度量が必要。同時に、選手の見聞にも耳を傾け、時には議論を戦わせることも必要でしょう。選手たちだけでなく、重要な事項を決定させるような、「精神的なゆとり」も指導者には必要です。大切なものは、高校野球を通していろいろな経験をすることです。

人材育成の視点では、企業も現在、業績という数字だけではなく、社会貢献や社員のライフワークバランスとの両立が求められています。仕事か家庭かの二項対立では成り立ちません。現代社会における生き方や人材の育成には、森林監督の指導理念は大変参考になります。私たちが保護者の皆様も子どもたちの成長を待って、可能性を信じて「文・武・心」の三道三立を応援しましょう。

終わりに、兼久 P T A 会長をはじめ会員の皆様方には、引き続き本校の教育活動に御支援いただきますとともに、子どもたちを温かく見守っていただきますようお願い申し上げます。

PTA活動

「挑夢」〜燃えろ 熱い闘志〜

山崎 晶子

空は晴天。数日前からの雨予報を覆し、九月六日、第七十四回体育大会が開催されました。実に四年ぶりの制限もない体育大会となり、朝早くから席を確保する保護者の方々の姿もありました。

開始時間前になると、北斗、飛龍、銀河、青雲、それぞれのグルーパークラーのはちまきをした生徒たちが、生き生きとした顔でグラウンドに集まり、さあ開幕です。



開会式では、各グループ長によるユニークな選手宣誓に会場からも笑いの声が上がリ、各種競技が始まりました。どの競技も生徒の白熱した演技に、会場からは声援や拍手が響き渡ります。

特に一年生の北高体操、二年生男子による棒体操は、日々の練習の成果が発揮され、圧巻の演技。二年生女子による可愛いらしいダンス。各ブロックの応援合戦は、工夫を凝らした衣装に魂の籠った演技。仮装パフォーマンスは、独創的なストーリーに会場全体も引き込まれました。三年生の北高音頭は、生徒の笑顔が弾け、女子の浴衣姿はグラウンド一杯に花が咲いた様でした。三年生にとっては最後の体育大会、心に残る思い出になったことだと思います。

最後に、御指導頂いた先生方をはじめ、PTAの皆様、保護者の皆様の御協力に心より感謝申し上げます。

文化祭 P T A バザーに 参加して

加藤美佐子

今年の文化祭は、十月十九日に行われました。

例年の一か月遅れでしたが、当日は最高気温二十五・七℃の夏日を記録し飲み物は冷やすのも間に合わない程に次々と売れました。

また、一昨年と同様に調理済みの商品(パン、おにぎり、オムライス等)に加え、業者に入っていたいただき、揚げたてであつあつ



の唐揚げ、ポテト、コロッケを販売し、大変好評のうち完売することができました。私も、微力ながら当日お手伝いすることができ、楽しそうに遊ぶ生徒さんや保護者の方たちを間近で見ることができ大変うれしく思いました。



今年度はインフルエンザの学級閉鎖等が各学校で多く聞かれる最中であり、コロナ禍前のように P T A 保護者の手作り食品の販売は、感染症の拡大を考慮し実施しませんでした。現段階でできる最大限の P T A 販売をさせていただきます。これにはないかと思えます。これもひとえに、御協力くださいました先生方、役員の皆様のおかげと、心より感謝申し上げます。

親睦バレー大会に参加して

和田 幸洋

秋深まりつつある十一月末、私にとっては初めての P T A 行事である親睦バレーボール大会に参加させて頂きました。

最近では、コロナ感染は少なくなる一方でインフルエンザウイルスが流行していることもあり、しっかりと感染対策を講じた中で、試合は行われました。先生方、保護者の皆さん総勢三十一名が参加され各学年毎にチームに分かれての総当たり戦でした。日々の運動不足もあり、体力を心配しながらのプレーでしたがチームの皆さんと笑顔で楽しく声を掛け合いながら無事、怪我もなく、しかも全勝優勝することができました。閉会式では、豪華景品を頂きました。

ここ数年、いろいろな学校行事が制限されてきた中で、このような大会で、他の保護者の方や教職員の方と交流が図れたことに感謝します。ありがとうございました。

PTA研修旅行に参加して

岡田美由紀

本州付近に梅雨前線が停滞し、大雨のためお天気が心配された七月一日、PTA研修旅行に参加させて頂きました。

昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、松山市内の大学を巡る旅でしたが、五月八日から五類感染症の位置づけとなったため今年度はいざ高知へ、本校の先生方と保護者、合わせて十七名が大型高速バスで午前七時半に出発しました。

今年の研修旅行は、高知大学の大学見学並びに学生との座談会を行った後、いの町紙の博物館での紙漉き体験、昼食に土佐料理を堪能し、最後は桂浜で景観を楽しむコースでした。

高速道路を伊野インターチェンジで降りて二十分、高知大学あさくらキャンパスに到着しました。教室にて高知大学教育学部と人文社会学部に在籍している本校の卒業生(いずれも三回生)の皆さんとの座談会が行われました。

座談会では三年生の学年主任秋川先生の進行のもと、高知大学の特徴や大学周辺の利便性、アルバイト等について、進学の際に進路を決定したタイミンングや動機、受験勉強の工夫等様々なお話を伺いました。教育学部では二回生からコース選択が分かれるようで、一回生の間に自分が進みたい進路を選択することができそうです。

また、高知ならではの「南海トラフへの心配は？」という質問に対し、あさくらキャンパス

専門委員会 活動報告

人権・同和教育専門委員会

角藤 未栄

今年も、様々な人権教育に関する研修や大会に参加させていただきました。私自身この委員会に所属し人権を学ぶ機会を持つことで、差別や偏見、思い込みの恐ろしさ、心豊かに安心して生活することの素晴らしさ、重要性に気づくことが出来ました。

全生徒が所属する北高生の家庭クラブ活動(護国神社での慰霊碑清掃・フードドライブと子ども食堂)の関わり、ジェンダーへの学び(等)について、参加した研究大会での報告で知りました。知識を学び、それを実行する北高生の姿に感銘を受け、私たち大人が、まずは知ること学ぶことを正しく理解しないといけないと実感しました。

多くの人たちとの関わりの中で培う人権のアンテナ。学校・家庭・地域社会が一体となって人権社会の形成を進めていくことが重要です。会話の少ない息子と、なかなか人権について話し合うことは難しいのですが、せめて母親がPTA活動を通して成長したことを伝えられたらと考えています。そしてこれからも人権について学ぶことは続けていきたいと思えます。

美化・保健専門委員会

森川 いづみ

十月十一日、防災避難訓練に参加しました。避難を促す放送後

生徒の皆さんはそれぞれの経路で、私語なく迅速にグラウンドに避難して、集合完了まで五分足らずでした。

消防署員の方より、南海トラフ地震をはじめ、災害は明日起こるかも知れず、自分事として捉え、備えておくことが重要とのこと。また、守られる側だけでなく、状況によっては誰かを守る側になる可能性もあり、そのための知識として、消火器の使い方や搬送の仕方、代表生徒の実技を交えて教わりました。一人での搬送から複数人での搬送、用具を使つての搬送など、様々な方法があることや、声出しの大切さを知りました。いざという時、たとえ自分に体力やスキルがなくても、周りに知らせるといった口火を切ることはできることも学びました。生徒の皆さんが、関心をもって学び取っている様子が印象的で、親世代以上の防災意識の高さを感じました。

最後に、人を救助することは、特別なことと思いがちですが、クラスや部活動など、普段の生活で人を見てやることの延長上にあると述べておられ、親としても家庭や地域で、目配りや気配りを心がけていきたいと思いました。

生徒指導専門委員会

多田 美賀

当委員会は、朝の登校指導を主な活動としております。今年度は、六月、九月、十一月の計三回、先生方と一緒に学校周辺の四箇所、通学時の安全見守りを行いました。学校周辺は、大通りや踏切、大車もあり、通学時間帯の交通量は非常に多く、自動車にバイク、自転車などが慌ただしく行き交っている

状態です。

そのような状況下で、北高生はヘルメットの着用が徹底されていることに安心すると共に、ギリギリ登校の生徒が多いことがわかりました。毎日通い慣れた道であっても、常に危険と隣合わせであることも、心得て、油断することなく、安全に登校してもらいたいのです。今後、時間と気持ちにゆとりのある登校が出来る生徒が増えることを願っております。

また北高生は、先生方には勿論ですが、私たち保護者にも挨拶があり、朝から嬉しい気持ちになることが出来ました。そのようなすばらしい北高生が高校三年間、安全に無事故で登下校してくれることを切に願っております。

広報・文化活動専門委員会

島田 篤美

当委員会の活動は、年一回のPTA新聞発行と文化祭でのPTAバザーです。

今年度は、コロナ禍明け飲食完全復活の年となりました。子どもたちが出店する物と被らないよう、PTAで提供する物を決定しました。

初めてのバザーの打合せは八月初旬、九月初旬には二回目の打合せ、九月末に当日お手伝いをしていただく方の振り分け、十月中旬には、初旬に締め切ったチケットの作成、各クラス等へ振り分けを行いました。文化祭当日は九時半から参加し、大盛況で終えることができました。たくさんの子どもたちと接し、笑顔を見ることができてあつという間の一日でした。その後、十月中旬にPTA新聞の打合せを行い、校正などを経て発行に至りました。

文化祭やPTA新聞の打合せでは、何度も学校へ行くことがあり、忙しく思うこともありましたが、とても充実した一年となりました。分からないことはばかりで不安でしたが、多くの方に支えていただき無事終えることができました。本当にありがとうございます。



文化祭

体育活動専門委員会

坂本 海峰

当委員会の活動は、PTAソフトバレーボール大会の準備などの大会運営と大会への参加、教職員の方々との交流をメインの活動としております。

昨年に引き続き、今年も無事、大会を開催できることとなり、十一月二十七日に計三十一名で各学年毎にチームを分けて、熱戦が繰り広げられました。優勝は三年生保護者、教職員チームでしたが、他のチームも、試合が進むにつれてお互いの連携が良くなり、非常に良い交流の場となりました。子どもたちが高校生にもなると、他の保護者の方や先生方との交流機会は少なくなります。来年以降もこの大会を開催しますので興味のある方は参加をお願いします。



は津波の浸水区域ではないことや、いざという時のために災害レポートを提出するなど、かなり対策が取られている印象でした。高知大学は八割近くが県外から来ている生徒ということで、新しい人間関係が築けるといふ特色があるといった情報をいただき、参加している三年生の保護者の方は次々に質問をしていました。

その後、いの町紙の博物館では、各々が紙漉きを体験し、和紙作りを楽しみました。昼食は土佐名物の鰹のたたきや手長エビを堪能しました。終着、桂浜に着いた頃には雨も上がり、坂本龍馬像の前に写真撮影をし、今年三月にオープンしたばかりの「海のテラス」というお土産エリアで両手いっぱいお土産を抱えて高知を手におきました。

帰路のバスでは保護者の皆さんと先生方が受験方法の選択や学校生活についてなど、活発に話し合う様子が見られ、参加した保護者から本当に参加してよかったという声がたくさん聞かれました。

部活動大会結果

11月まで

第77回愛媛県高等学校総合体育大会

陸上競技	男子800m	第3位	井上 翼
	男子400mH	第3位	鎌倉 駿希
	男子4×400mリレー	第1位	鎌倉・泉田 井上・兼久 小林 優介
	男子走高跳	第1位	小林 優介
	男子走幅跳	第3位	長井耕太郎
	男子三段跳	第1位	渡部 京志
	男子三段跳	第3位	長井耕太郎
	男子ハンマー投	第2位	池本 翔
	男子八種競技	第1位	小林 優介
	男子総合	第1位	
	男子フィールド	第1位	
	女子4×100mリレー	第3位	松木・篠原 篠原・村上 篠原わかかな
	女子棒高跳	第1位	花山 晴香
	女子円盤投	第1位	
	女子フィールド総合	第1位	
バスケットボール	女子	第3位	
バレーボール	男子	第3位	
卓球	男子団体	第3位	
	男子シングルス	第3位	釣井 叶大
	男子ダブルス	第3位	釣井・小山
	女子団体	第2位	
テニス	男子団体	第2位	
	男子ダブルス	第3位	武田・石綿
ハンドボール	男子	第3位	
柔道	男子個人60kg級	第3位	白石 朝陽
	男子個人66kg超級	第2位	本田 悠人
	男子個人100kg超級	第2位	矢間 司
	女子個人48kg級	第3位	藤田奈央未
	女子個人57kg級	第3位	松本 天音
ライフル射撃	女子総合	第2位	
	女子エアライフル	第1位	河野 愛禾
水泳	男子総合	第3位	
	男子4×200mフリーリレー	第3位	大川・三ツ井 二宮・内藤 菅 百花
	女子100m平泳ぎ	第3位	菅 百花
	女子200m平泳ぎ	第2位	菅 百花
	女子200m個人メドレー	第3位	大川 心暖

第72回四国高等学校選手権大会

陸上競技	男子三段跳	第1位	渡部 京志
	男子ハンマー投	第2位	池本 翔
	男子八種競技	第3位	小林 優介
	男子4×100mリレー	第6位	渡部・川本 石井・佐々木 鎌倉・泉田 井上・兼久 篠原わかかな
	男子4×400mリレー	第4位	
	女子棒高跳	第2位	篠原わかかな
テニス	男子ダブルス	第3位	武田・石綿
柔道	男子個人66kg級	第3位	本田 悠人
	男子個人100kg超級	第3位	矢間 司

第47回全国高等学校総合文化祭

吟詠剣詩舞	合同(構成吟)	出場	二宮・福田
美術	立体	出展	宮内 羽菜
	平面	出展	白木かのん

第72回秋季県展

美術	デザインの部	推奨	福田 妃菜
----	--------	----	-------

第28回少年少女全日本空手道選手権大会オープントーナメント

空手道	高校2・3年生男子軽量級の部	第8位	宮本 悠矢
-----	----------------	-----	-------

第42回四国ジュニアテニス選手権大会

テニス	16歳以下男子シングルス	第1位	武田 壮
-----	--------------	-----	------

第23回中国・四国チアリーディング選手権大会

チアリーディング	社会人の部規定演技部門	第1位	岡 春伽
----------	-------------	-----	------

令和5年度愛媛県高等学校新人大会

陸上競技	男子110mH	第3位	小林 優介
	男子400mH	第2位	藤岡 汰地
	男子3000mSC	第2位	門田 明利
	男子4×100mリレー	第2位	川本・佐々木 長井・石井 中尾・藤岡 石井・泉田
	男子4×400mリレー	第1位	

	男子走高跳	第2位	小林 優介
	男子走高跳	第3位	蚊帳 太志
	男子走幅跳	第2位	佐々木景亮
	男子走幅跳	第3位	長井耕太郎
	男子やり投	第3位	大原 夕聖
	男子総合	第1位	
	男子トラック総合	第1位	
	男子フィールド総合	第1位	
	女子走高跳	第3位	近泉 沙耶
	女子三段跳	第3位	宇野 一郎
	女子フィールド総合	第3位	
水泳	男子総合	第3位	
	男子200m自由形	第3位	内藤将太郎
	男子200m背泳ぎ	第3位	大川 響生
	男子400m自由形	第2位	大川 響生
	男子4×100mフリーリレー	第3位	内藤・二宮 松田・大川 山崎 陽羽
	女子200mバタフライ	第3位	大川 心暖
	女子200m個人メドレー	第3位	大川 心暖
	女子400m個人メドレー	第3位	大川 心暖
ライフル射撃	女子エアライフル	第2位	河野 愛禾
	女子ビームピストル	第3位	清水 柑那
テニス	男子団体	第2位	
	男子シングルス	第3位	石綿 凌空
	男子ダブルス	第3位	武田・石綿
剣道	女子団体	第3位	
柔道	男子団体	第3位	
	男子個人60kg級	第2位	白石 朝陽
	男子個人66kg級	第2位	本田 悠人
	男子個人100kg超級	第1位	矢間 司
	女子個人48kg級	第3位	横山 七海
卓球	男子シングルス	第3位	釣井 叶大
	女子シングルス	第2位	石丸 海羽

第25回四国高等学校新人陸上競技選手権大会

陸上競技	男子4×100mリレー	第2位	川本・長井 中尾・石井 佐々木景亮 長井耕太郎 渡部 京志 大原 夕聖
	男子走幅跳	第3位	
	男子走幅跳	第4位	
	男子三段跳	第3位	
	男子やり投	第3位	

特別国民体育大会(かごしま国体)

陸上競技	少年男子B走幅跳	第3位	佐々木景亮
ライフル射撃	女子エアライフル	出場	河野 愛禾
バスケットボール	少年女子	出場	前野 凌音
武術太極拳	少年女子	出場	峯雪 莉彩

第17回U18第54回U16陸上競技大会

陸上競技	U16男子走幅跳	第1位	佐々木景亮
	U16男子円盤投	出場	刀根 陽真
	U18男子三段跳	出場	渡部 京志

2023年度ジュニアエアガン大会

ピストル	10mエアピストル少年女子	第2位	清水 柑那
------	---------------	-----	-------

第76回全国高等学校バスケットボール選手権大会愛媛県大会

バスケットボール	女子	第3位	
----------	----	-----	--

第76回全日本バレーボール高等学校選手権愛媛県大会

バレーボール	男子	第3位	
--------	----	-----	--

第102回全国高等学校サッカー選手権大会愛媛県大会

サッカー		第3位	
	ベストプレイヤー		吉田 優樹

第37回愛媛県高等学校総合文化祭

棋道	囲碁部門 男子個人の部	第2位	岡 柁佑
吟詠剣詩舞	吟詠剣詩舞部門 剣詩舞(合同)の部	優秀	宮川・福田 二宮 大翔
	吟詠剣詩舞部門 剣詩舞の部	奨励	二宮 大翔
書道	書道部門	優秀	菅能 唯

第22回高校生英語スピーチコンテスト

		優良賞	菅野 華永
--	--	-----	-------

ビジフェスEHIME2023

	高校生部門	優秀賞	坂東 煌介
--	-------	-----	-------

全国選抜高校テニス大会四国地区大会

テニス	男子団体	第3位	
-----	------	-----	--

第71回全日本吹奏楽コンクール愛媛県大会

吹奏楽	高等学校A部門	銀賞	
-----	---------	----	--